

追加在庫

A5052B-H112

360 φ迄

A5056B-H112

360 φ迄

A5083B-O

360 φ迄

A2017B-T4

360 φ迄

A6061B-T6

360 φ迄

常時在庫品揃え
寸法切・定尺共

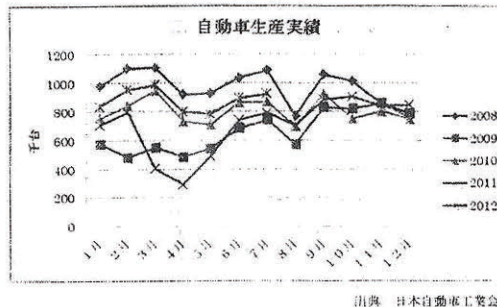
大河内金属株式会社

尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号
〒660 TEL(06)6411-6852 番
-0092 FAX(06)6411-6241 番
神奈川営業所 横浜市中区山下町194
外丸ビル9F
〒231 TEL(045)663-3611 番
-0023 FAX(045)663-2770 番

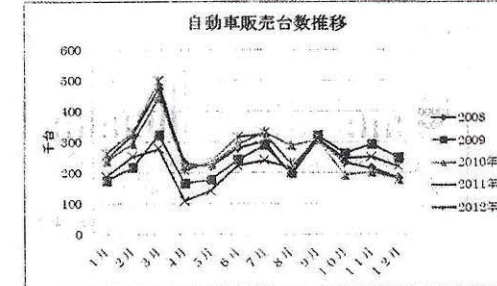
日刊メタルレポート

	5月	6月	7月
生産台数	78万1349台	89万3149台	92万2685台
前月比	-2.3%	+20.1%	+3.3%
昨年対比	+59.5%	+20.3%	+16.7%
販売台数	31万7162台	32万8643台	23万2372台
前月比	+34.2%	+3.6%	-29.2%
昨年対比	+40.9%	+36.1%	+7.3%

自動車生産台数



自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

発行所

株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話(06)6932-5443 代表北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話(076)444-6836

購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円

新設住宅着工戸数は大幅減

自動車生産は堅調も販売伸び悩み

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

【概況】八月前半は独メルケル首相が「ユーロ防衛のためにあらゆる手を尽くす」などの発言などプラス材料もあったが、米FRBが異例の低金利を二〇一四年までと、一五年までの延長がなかったことや、七月の中国貿易統計が1%増と予測の8%大きく下回ったことを嫌気しLME銅相場が大幅下落。七、四〇七ドル(セツル)と約一七〇ドル下落しての前半締めとなった。後半はスペインカタールニヤ州政府がスペイン中央政府に支援要請をしたことなどから七、四〇〇ドルを切る水準まで下落するものの、ECB(欧州中銀)が国債購入を再開するとの報道や、FOMC議事録で追加的金融緩和(QE3)への期待が広がったことから急反発し、九月一日現在、前半から一七〇ドル上昇の七、五七六ドル、銅建値は六四万円(のスタート)となった。

■前月の経済指標

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比三・三%増の九二万二、六八五台であった。

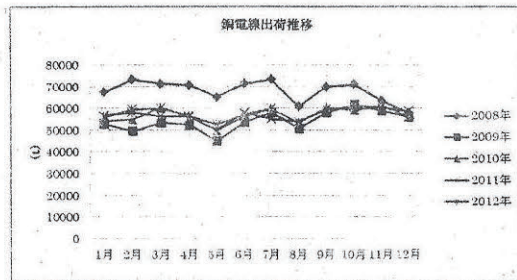
◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比二九・二%減の二三万二、三七二台(前年比七・三%増)。(面へ続く)

銅の頼みの自動車販売減少で緩和

銅相場 上値は七、八〇〇ドルあたりか

(二面より続く)



【見通し】

自動車生産に関しては好調、ただ自動車販売や住宅関連は伸び悩みが感じられた。

欧州懸念は独メルケル首相がユーロ防衛に意欲を示した事やECBの国債購入再開期待から現在は安定。

自動車生産は前年比一六・七%増の九二万二、六八五台と一二月月連続上昇し、堅調に推移。

ただ国内自動車販売台数が二三万二、三七二台で前年比七・三%増と伸び悩んだ(前月比二九・二%減)。

自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比〇・六%減の六万八、五二〇tの昨年対比(五・七%減)と一四カ月連続前年割れ。

銅電線出荷量は、前月比四・三%増の五万九、八〇〇t、昨年対比九%増と六カ月連続回復へ。今回も自動車・住宅向けに助けられた形に。

新設住宅着工数は季節調整前月比四%増の七万五、四二一戸、前年比は九・六%減と大幅減少、ただし住宅エコポイント切れ前の駆け込み需要の反動か。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比七・八%減の三万九、九八〇tと四カ月連続の減少。銅スクラップは五・一%増の二万七、二

三とこちらは上昇した。

輸入は電気銅が三五・四%減の二、一〇六t、スクラップは五・二%増の五、八五〇t。

銅需給に関しては、先月も自動車関連の本格的な需要が継続、ただし自動車販売台数で二九・二%減と大幅下落、前年比では七・三%増と増加しているものの、急減する可能性があり注意が必要。

住宅着工数も九・六%減(前年比)と大幅減少。ただ昨年同月が住宅エコポイント切れの駆け込み需要であったため。

その他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては一四カ月連続悪化の五・七%減(前年比)。

夏季休業を受けての絶対的な発生量の不足が予測されるがその後の先行き不安(欧州問題)や頼みの自動車販売台数減少からセンチメントが悪化し需給は緩い。

銅価格に関しては、独メルケル首相のユーロ救済関する積極発言や中国の景気対策期待がでる一方で米、欧州の経済指標好転から追加の量的金融緩和(QE3)が行われる可能性が今月は低い事などから、上値で七、八〇〇ドルあたり。ただ下値も前月に続き最悪の場合は米、中の金融緩和の期待(あくまで期待)が下支えし、LME価格で七、〇〇〇ドル、八〇〇ドル。銅建値に関しては五九〇六五万円程度と予測している。

LME非鉄在庫(9月3日発表分)

	入	出	庫	8月31日現在	増	減
銅	0	4,625	225,275	±	4,625	0
GAW	0	0	0	±	0	0
GAC	0	4,625	225,275	±	4,625	0
す	0	0	11,635	±	0	0
鉛	0	2,350	307,875	±	2,350	0
亜鉛	0	25	951,075	±	25	0
アルミ	24,000	9,100	4,884,950	+	14,900	0
ニッケル	0	360	84,640	±	360	0
アルミ二次(NASAA)	966	90	119,784	+	876	0
	100	80	149,300	+	20	0

(単位: トン)

銅の出は電気銅減少、スクラップ増加

輸入は電気銅が三五・四％減少

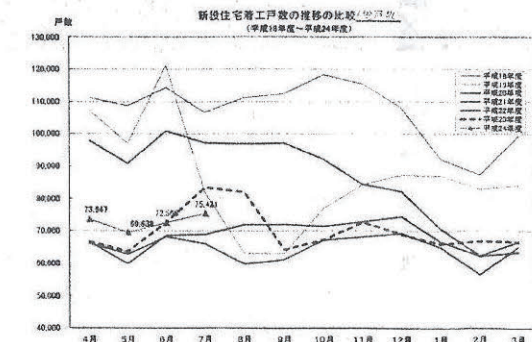
(一面より続く)

【前月の経済指標】

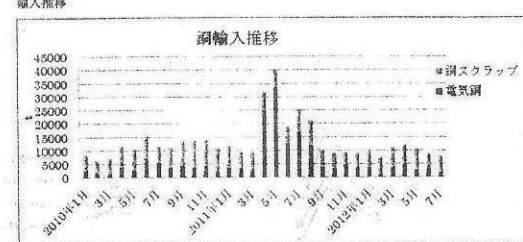
◆新設住宅着工戸数

国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)四％増(昨年比九・六％減)の七万五、四二二戸であった。

	5月	6月	8月
新設住宅着工数	6万9638戸	7万2566戸	7万5421戸
季節調整 前月比	+0.8%	+7.3%	+4%
昨年対比	+9.3%	-0.2%	-9.6%
新設住宅着工数推移			



	5月	6月	7月
輸入			
電気銅	2721 t	3258 t	2106 t
前月比	-45.2%	+19.7%	-35.4%
スクラップ	7860 t	5662 t	5850 t
前月比	+11.5%	-29.2%	+5.2%
輸入推移			

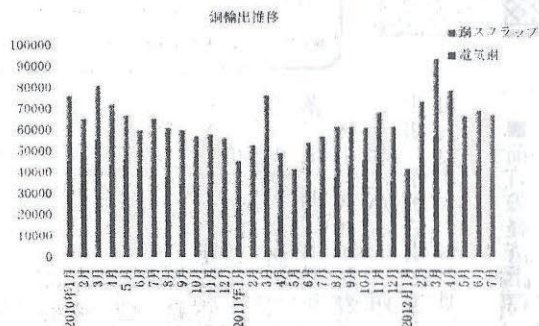


出典 財務省 貿易統計

◆貿易関連指標

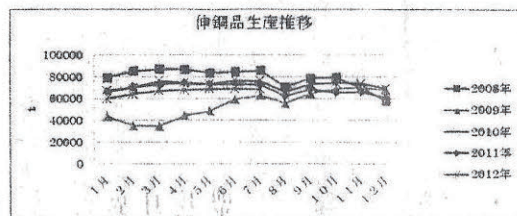
財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が七・八％減の三万九、九八〇t、スクラップが五・一％増の二万七、二二一t。

	5月	6月	7月
輸出			
電気銅	4万3866 t	4万3366 t	3万9980 t
前月比	-6.3%	-1.1%	-7.8%
スクラップ	2万3007 t	2万5905 t	2万7231 t
前月比	-28.2%	+12.6%	+5.1%
輸出推移			



【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比〇・六％減の六万八、五一〇t(昨年対比五・七％減)。



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比四・三％増の五万九、八〇〇tであった(昨年対比九％増)。(六面に続く)